

# 碓潜

いかりかつぎ

素謡「神歌」観世喜正

狂言「茶壺」野村萬斎

能「碓潜」小島英明



能「碓潜」後シテ：平知盛の壺・観世喜正  
(撮影：青木信二)



狂言「茶壺」シテ：すっぱ・野村萬斎 (撮影：政川慎治)

2021 **1.24**回  
14:00開演 (13:00開場) **なかのZERO 大ホール**

**料金 (全席指定・税込)** 1階席 **5,600**円 (ホールメイト会員5,100円) 小中学生**4,600**円  
2階席 **3,600**円 (ホールメイト会員3,300円) 小中学生**2,600**円 ※未就学児入場不可

**発 売 日** 一般発売日 11月2日(月) 10:00~  
ホールメイト会員優先日 11月1日(日) 10:00~  
中野区民優先日 11月1日(日) 13:00~  
※優先日は「なかのZEROチケットセンター」で予約受付のみ。(ホールメイト会員は電話・オンライン予約。中野区民は電話予約のみ。)

**チケット取り扱い** **なかのZEROチケットセンター 03-3382-9990 (10:00~19:00)**  
オンライン <https://nicesacademia.jp/>  
チケットぴあ(一般発売日以降) <https://t.pia.jp/> [Pコード:503-823]  
イープラス(一般発売日以降) <https://eplus.jp/>

※ご予約・ご購入後のキャンセル・変更等はできませんのでご了承ください。※車椅子のお客様はなかのZEROチケットセンターへお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下を必ずご確認ください。

◆発熱など体調がすぐれない方は来場をお控えください。◆咳エチケット、手洗い・手指の消毒の徹底をお願いします。◆入場の際の検温で37.5度以上の発熱がある方、マスクの着用がない方のご入場はご遠慮いただきます。◆整列や入退場の際には、前後の間隔をできるだけあけてください。◆出演者へのプレゼント、差し入れはご遠慮ください。◆過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合は来場をお控えください。◆感染者が発生した場合、必要に応じて緊急連絡先を保健所等の公的機関へ提供する場合があることをご了承ください。

# 碓潜

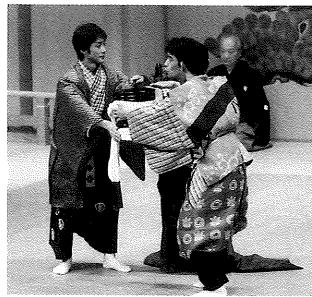
いかりかづき

あらすじ

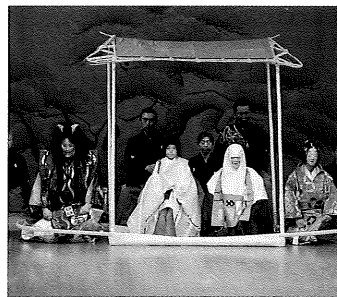
素謡「神歌」かみうた  
神聖な儀式曲「翁(おきな)」を素謡の形式で上演する時は、「神歌」という。千歳は露払いとして颯爽と謡い、翁は天下泰平・国土安穩を祈禱し、新春を寿ぐ。

狂言「茶壺」ちやっぽ  
梅尾(とがのお)で茶を買い求めた男(アド)が、途中立ち寄った宿で酒を振舞われ、すっかり酔っ払って茶壺を背負ったまま街道で寝込んでしまう。そこへ通りかかったすっぱ(シテ)が茶壺を盗もうと、さも自分が茶壺を背負っていたかのように見せかけて背中合わせに横たわる。目が覚めた男とすっぱがそれぞれに茶壺は自分の物だと言いつ争うところへ、目代(目代官・小アド)が通りかかり、二人の言い分を聞くのだが、どちらとも判断がつかない。そこで目代は…

能「碓潜」いかりかづき



狂言「茶壺」(撮影:政川慎治)



能「碓潜」後場(撮影:駒井社介)

平家ゆかりの都の僧(ワキ)が、滅びた一門の菩提を弔う為、長門国(山口県)早鞆の浦(壇ノ浦)にやってくる。そこへ一人の老人(前シテ)が舟に乗り現れたので、僧は早速に便船を請うと、老人は船賃の代わりとして法華經の読誦を所望する。やがて向こう岸にたどり着いた僧は、かつてこの浦で繰り広げられた源平の合戦の物語を求めると、老人は、平教経が義経の船に飛び移り奮闘した後、源氏方の武士・安芸の太郎、次郎兄弟を両脇に挟み海に沈み果てた有様を語り、自分たちこそ平家の亡霊であるとのめかし、消えていく。【中入】  
その夜、岸辺にて僧が弔いの経を上げると、突然琴の音が聞こえ、早鞆の海上に二艘の船が浮かび上がる。見れば船中には、安徳天皇(子方)をはじめ二位ノ尼(後ツレ)、大納言局(後ツレ)、そして平知盛(後シテ)の姿があった。やがて語られる安徳天皇入水の有様。重ねての回向を頼み亡霊たちが消え行くと、突如辺りに闇の音が上がり始める。その場に残った知盛の亡霊は、訪れる修羅の闘争に身を苦しめつつ源氏の軍兵を追い払った後、自身の頭上に高々と碓を戴くと、そのまま海中に飛び入り消え失せる。

## ■素謡 神歌

翁 観世喜正  
千歳 小島英明  
  
地謡 奥川恒治  
遠藤喜久  
鈴木啓吾  
中森健之介

## ■見どころ解説

小島英明

## ■狂言 茶壺

シテ(すっぱ) 野村萬斎  
アド(田舎者) 飯田豪  
小アド(目代) 内藤連  
後見 中村修一

<休憩20分>

(15:30頃)

## ■能 碓潜

前シテ(老翁) 小島英明  
後シテ(平知盛) 小島史織  
子方(安徳天皇) 永島充  
後ツレ(二位ノ尼) 佐久間二郎  
後ツレ(大納言局) 館田善博  
ワキ(僧侶) 飯田豪  
アイ(早鞆ノ浦人)

笛 藤田貴寛  
小鼓 鶴澤洋太郎  
大鼓 原岡一之  
太鼓 桜井均

地謡 観世喜正  
中森貫太  
鈴木啓吾  
坂真太郎

後見 奥川恒治  
遠藤喜久



観世喜正  
YOSHIMASA KANZE

観世流シテ方。1970年生。観世喜之の長男。父に師事。父とともに矢来能楽堂を中心に活動。国内や海外での演能にも多く携わる。能楽協会の教育特別委員として能楽体験学習など、若い世代への能の普及を積極的に推進。著書「演目別に見る能装束Ⅰ・Ⅱ」。慶応大学法学部卒業。喜謡会・喜楽会主宰。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽会会員)。(公社)観世九阜会理事。(公社)能楽協会理事。



小島英明  
HIDEAKI KOJIMA

観世流シテ方。1970年生。観世喜之に師事。祖父は先々代喜之、伯父は先代喜之に師事した能楽師で、幼少より能に親しむ。なかのZEROでの公演は本年で16回目。国内外の公演以外にも能楽普及のための講座を自ら多数企画・実施。著書に「恋する能楽」。学習院大学法学部卒業。阜風会主宰。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽会会員)。(公社)観世九阜会所属。(公社)能楽協会会員。



野村萬斎  
MANSAI NOMURA

和泉流狂言方。1966年生。野村万作(人間国宝)の長男。故六世野村万蔵及び父に師事。3歳で初舞台。国内外で狂言の普及を目指す一方、映画、舞台、TV等幅広いメディアで活躍。古典の技法を駆使した演出等、新しい演劇活動にも意欲的に取り組む。東京藝術大学音楽学部卒業。世田谷パブリックシアター芸術監督。ござる乃座主宰。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽会会員)。(公社)能楽協会会員。

□ 2021年1月24日(日)14:00開演(13:00開場)

□ なかのZERO大ホール <東京都中野区中野2-9-7> ※JR・東京メトロ東西線 中野駅南口より徒歩8分

□ チケット料金《全席指定・税込》[1階席] 5,600円 [2階席] 3,600円 ※未就学児入場不可

ホールメイト会員は[1階席]5,100円 [2階席]3,300円 \*小中学生は[1階席]4,600円 [2階席]2,600円

◎なかのZEROチケットセンター

電話 03-3382-9990(10:00~19:00) オンライン <https://nicesacademia.jp/>

◎チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:503-823]

◎イープラス <https://eplus.jp/>

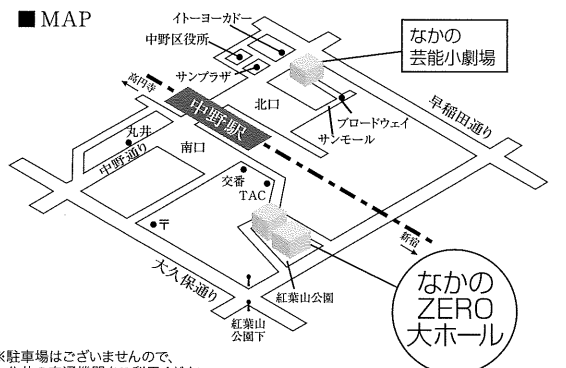
終演予定 17:00頃

# NAKANO ZERO SHINSYUN NOH 2021

## 事前講座「能のてほどき」の御案内

本公演に先立ち、小島英明による講座「能のてほどき」を開催。公演当日に使用予定の能面・能装束や映像を御覧頂きながら、能「碓潜」の見どころを解説します。

日時:2020年12月12日(土) 開演10:30(開場10:00)  
会場:なかの芸能小劇場 <東京都中野区中野5-68-7> ※JR・東京メトロ東西線 中野駅北口より徒歩5分  
講師:観世流能楽師 小島英明  
料金:一般1,000円・小中学生500円 <全席自由・税込> ※未就学児入場不可  
申込:なかのZEROチケットセンター  
電話 03-3382-9990(10:00~19:00) オンライン <https://nicesacademia.jp/>  
受付開始:2020年11月1日(日)10:00~  
定員:先着50名 ※定員になり次第募集終了



※駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。